

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 30 年 11 月 14 日

設置・運営主体	ヒューマンスターチャイルド株式会社		
設置主体	ヒューマンスターチャイルド株式会社		
経営主体	ヒューマンスターチャイルド株式会社		
事業所名 (施設名)	スターチャイルド浦和保育園	種別	保育所
所在地	〒 330-0055 埼玉県さいたま市浦和区東高砂町25-7		
電 話	048-871-0250		
FAX	048-871-0256		
Email	<a href="mailto:urawa@starchild.jp">urawa@starchild.jp</a>		
URL	<a href="http://www.starchild.jp/">http://www.starchild.jp/</a>		
施設長氏名	柴田 ナヲ子		
調査対応担当者	柴田 ナヲ子 (所属、職名：施設長)		
利用定員	60 名	開設年	平成 28 年 4 月 1 日

## 理念・基本方針

- ◆保育理念：子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践すること
  - 保育所の最大の役割である「養護」と「教育」を一体的に展開していくこと  
＝「子どもたちが安心して元気に毎日を過ごす」場を提供すること。
  - 子どもたちの『自発的な行動』を、実りある成長に結びつけるよう、刺激の与え方や、保育環境の構築に工夫すること。
  - 豊かな感情表現とスキンシップ・コミュニケーションを大切にすること。
  - positive sentence—否定語、禁止語は極力使わず、肯定形による前向きな言葉がけを意識すること。
- ◆保育目標・方針
  - ①良く考え、心身ともにたくましい子【自立と挑戦を支援します】
  - ②個性豊かな子【個性を尊重し長所を伸ばします】
  - ③やさしさと思いやりのある子【社会性＝人と関わる力を身につけます】
- ◆職場理念：嘘や不正、差別、偏見を許さず、全員が楽しく、イキイキと、前向きに働ける職場を創ること
  - 保育者が健全に、いきいきと、前向きな気持ちで働ける職場であること。
  - 嘘や不正、差別・偏見を根絶すること。
  - スターチャイルド社員として、「心」を追求すること。
    - \*お互いの立場や考えを理解しあう、思いやりの「心」
    - \*いつも明るく元気、笑顔で向き合える前向きな「心」
    - \*保育スキルの研鑽や、新しい知識の習得を志す向上「心」
    - \*自立と自律。自分で行動し、自らを律する強い「心」
    - \*「ありがとうございます」と素直に言える感謝の「心」
- ◆運営理念：かかわるすべての人が子育ての楽しさ、喜び、感動を共有できる保育施設を運営すること
  - 安心して利用していただくために、ハード（施設・設備等）ソフト（保育スキル、システム、訓練等）ともに最高水準の安全であること。
  - 子どもの最善の利益を第一に考え、その上で保護者のニーズにも応えていくこと。
  - 食事は生活の中心であり、安全な水、食材であることはもちろん、美味しく、楽しく食べられる配慮・工夫を追求すること。

開所時間 (通所施設のみ)	平日 7:00～20:00 土曜日 7:00～18:00
------------------	---------------------------------

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	3	3	1		1
1歳児	10	10	1		3
2歳児	11	11	1		2
3歳児	12	12	1		2
4歳児	12	12	1		1
5歳児	12	12	1		1
計	60	60	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○保育所の場合

常勤職員数		12 人	
うち	保育士	11 人	保健師・看護師 0 人
	栄養士・調理員	1 人	その他 ( ) 人
非常勤職員数		9 人 (常勤換算	3 人)
うち	保育士	6 人 (常勤換算	2.3 人)
	保健師・看護師	0 人 (常勤換算	人)
	栄養士・調理員	2 人 (常勤換算	0.4 人)
	その他 ( 事務員 )	1 人 (常勤換算	0.3 人)
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1 人	非常勤： 4 人
	退職	常勤： 2 人	非常勤： 1 人
(3) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均年齢		31.8 歳 (	31.5 歳)
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数		0.8 年 (	0.8 年)
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員 5 名)

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	
延長保育	○	
休日保育		
障害児保育	○	
一時保育		
地域子育て支援センター	○	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	
その他(事業名: )	○	

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

**【ボランティア等の受け入れに関する事項】**

・平成 29 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

38 人

・ボランティアの業務

- ・絵本、お話し読み聞かせ
- ・保育支援

**【実習生の受け入れ】**

・平成 29 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 6 人 (保育士)

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	m <sup>2</sup>	
	入所(通所)者1人あたり	m <sup>2</sup> (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	年
(5) 主な設備		

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	469.8 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	7.83 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	142 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	2.4 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	28年

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・ ご意見箱を施設内に設置
- ・ 苦情（要望）対応マニュアルがあり、苦情解決のフローチャートを保護者に配布
- ・ 苦情解決のための第三者委員を2名設置し、電話番号・メール先を記して施設内に掲示
- ・ 定期的に導入しているアプリのアンケート機能を使って利用者満足度アンケートを実施
- ・ 2歳児までは連絡帳があり、ご意見も含めて記入してもらっている
- ・ 運動会行事などのアンケートを実施
- ・ 個人面談を実施
- ・ 懇談会を実施

### 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・ 異年齢の交流が多く持てるようにしている。（朝・夕の異年齢合同保育。散歩を異年齢クラスで実施）
- ・ 食育に力を入れている。（ナス、ピーマンなどの夏野菜をプランターで栽培し、収穫した野菜は給食で調理してもらうなどして食べている。2歳児から5歳児は毎月クッキング活動があり、年長児は包丁体験もしている。また、年長児は栄養士の指導によりその日の食材を知り、三色栄養群のパネルに取り組んでいる。）
- ・ 英語を母語とする外国人講師を隔週で導入。幼児体操の専門講師を隔週で導入。
- ・ 自社で開発した知育教材を3歳児から5歳児で導入。
- ・ 年長児は10月から午睡を無くし、就学前教室（45分）を実施。（習字・造形・迷路・ワークなど）
- ・ 月1・2回、地域親子園開放日を設けている。（2歳児までを対象）

### 【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

\_\_\_\_\_ 0 \_\_\_\_\_ 回 （平成 \_\_\_\_\_ 年度）